医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	水痘・帯状疱疹ウイルスによる喉頭麻痺の全国調査
研究責任者	聖隷浜松病院　耳鼻咽喉科部長　岡村純 福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座　室野重之
研究実施体制	日本気管食道科学会推進研究：国内日本気管食道科学会専門医研修施設 研究責任者：福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座　室野重之
研究期間	研究承認日～2028 年 3 月 31 日
対象者	当院において 2023 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の 2 年間において診断した VZV による喉頭麻痺の患者さん
研究の意義・目的	水痘・帯状疱疹ウイルス（VZV）は初めて感染した時に水痘を発症しますが、その後は身体の中に潜んでいます。体調不良などにより、潜んでいる VZV が再活性化すると、典型的には帯状疱疹を発症します。時に、典型的な帯状疱疹ではなく、喉頭麻痺（のどの麻痺で声がれなどをきたす）として発症することがあります。この研究は、VZV による喉頭麻痺について、本学並びに全国の施設から情報を得て、その発症率や、治療法、合併する症状、予後（麻痺が治るかどうか）などについて調べることを目的としています。2025 年度から帯状疱疹ワクチンが要望接種法により定期接種となります。これにより、VZV による喉頭麻痺も予防されることが期待されますが、この研究はその元になるデータという意味で意義のあるものです。
研究の方法	対象となる方の診療情報から、年齢、性別、受診までの経緯と受診後の経過、症状、喉頭をはじめとする身体診察の所見、血液検査による VZV 抗体価、治療内容、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。
個人情報の取扱い	この研究は、上記患者さんを対象に、カルテから得られた所見や診療経過のデータについてアンケートを行い解析するものです。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を保護します。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院　耳鼻咽喉科　岡村純 TEL：053-474-2222（代表）　耳鼻咽喉科外来　9：00～17：00　平日

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会

（研究承認番号：　5288　）　2026 年　10 月　21 日承認